

ロボットにも心を
ロボットにも個性を

個性と共生の哲学：ロボットと人間の共生社会へ向けて

2016年11月1日 15:30 ~ 18:00

ANA クラウンプラザホテル金沢 4階 雲雀

「ロボットと人間の共生には個性が必要だ」柴田正良（金沢大学）

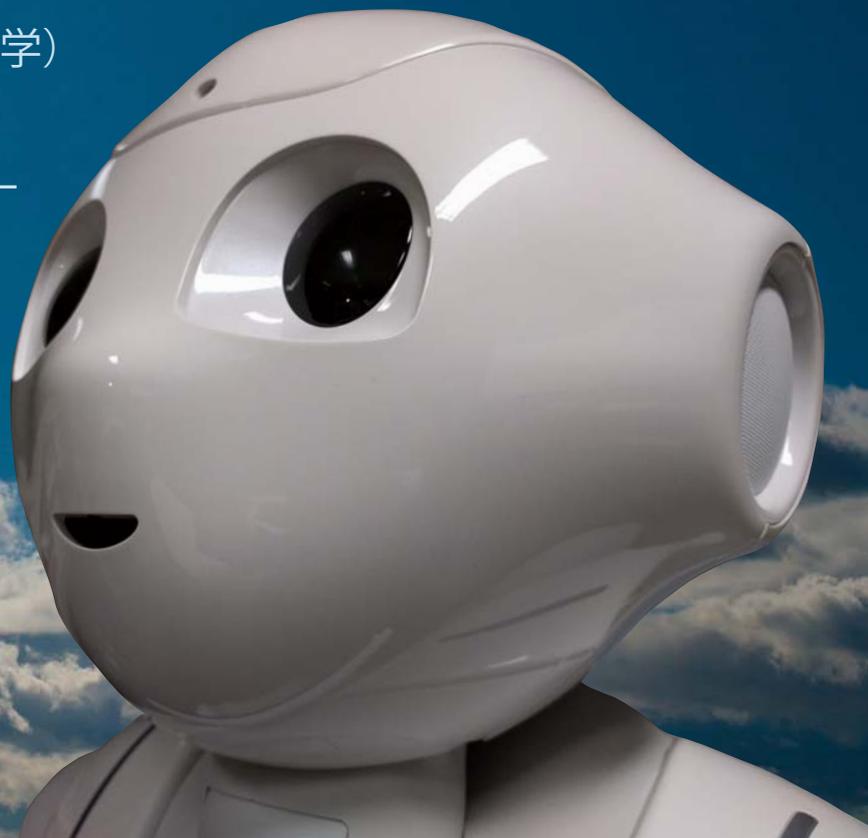
「モラルとロボット」小松孝徳（明治大学）

「共感と身体」長滝祥司（中京大学）

「哲学ディスカッションカフェ」

橋本敬・三浦俊彦・久保田進一

柏端達也・大平英樹



【担当】JAIST 知識科学系・金沢大学

【お問い合わせ】橋本敬（JAIST 知識科学系）hash@jaist.ac.jp

Matching **HUB**
Kanazawa 2016

共催：JSPS 科研費基盤研究 B 「個性を持つロボットの製作による〈心と社会〉の哲学」（15H03151）

JSPS 科研費基盤研究 A 「意図共有と意味創造を伴うコミュニケーション創発の進化的構成論による研究」（26240037）

「哲学」テクニカルセッション

日時：2016年11月1日 15:30-18:00

場所：ANA クラウンプラザホテル金沢 4階 雲雀

テーマ： 「個性と共生の哲学：ロボットと人間の共生社会へ向けて」

概要：ロボットが我々とともに生活する世界が昔からSFなどで繰り返し描かれてきた。現在、Pepperの登場によりそれがかなり現実味を帯びている。一方で、若い世代からも、介護はロボットにしてほしくない、学校でロボットに教えられるのはいやだ、人間はロボットに支配されるのか、という違和感や不安の声が聞かれる。そのような声がありながらも、我々はロボットと共生する社会を作っていくだろうし、いくべきだろう。このセッションでは、心の哲学、身体の哲学をベースに、そのような社会をつくるためになにが必要かを考える。そして、人間のパートナーとしてのロボットの今後の開発方向に提言を行い、将来、ロボットが社会に実装されたときの、人間とロボットの「個性をベースにした共生」のあり方を探求する。後半は参加者とPepperも交えて、この問題をいっしょに探求する議論をしたい。

座長： 北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系・教授 橋本 敬

プログラム：

15:30-15:40 趣旨説明 北陸先端科学技術大学院大学 橋本敬（専門：複雑系科学、進化言語学）

15:40-16:00 「ロボットと人間の共生には個性が必要だ」 金沢大学 理事 柴田正良（専門：心の哲学、分析哲学）

概要：ロボットが人間社会に入ってくる不安、ロボットと共生するためになにが必要か。我々はロボットも個性を持つことが必要だと考える。個性は人格的相互承認の基盤だからだ。

16:00-16:30 「モラルとロボット」 明治大学 准教授 小松孝徳（専門：ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、認知科学）

概要：人間は対峙したロボットに対してどのようなモラルを適用するのであろうか。このことは、人間とロボットの共生の在り方に大きな影響を与えると考えられる。本講演では、Human-Robot Interaction (HRI) 研究における「モラル」という新たな視点をもたらす意味について解説する。

16:30-16:50 「共感と身体」 中京大学 教授 長滝祥司（専門：身体論、現象学）

概要：ロボットと共生するには互いに共感することが必要だろう。共感とは、たとえば、痛みを共有するような身体を基盤として生じる。ところが、ロボットは人間とは異なる身体性を持つ。そのような異邦の存在者は、共感可能な「他者」となりうるのか？

16:50-17:00 休憩

17:00-18:00 哲学ディスカッションカフェ

モデレータ：橋本敬

ディスカッサント：

柴田正良、小松孝徳、長滝祥司、未来のペッパー

三浦俊彦（東京大学 専門：分析美学）

久保田進一（金沢大学 専門：デカルトの哲学、生命倫理）

柏端達也（慶應大学 専門：コミュニケーションの哲学、行為論、形而上学）

大平英樹（名古屋大学 専門：感情と意識の脳科学・心理学）

共催：

JSPS 科研費基盤研究 B 「個性を持つロボットの制作による<心と社会>の哲学」(15H03151)

JSPS 科研費基盤研究 A 「意図共有と意味創造を伴うコミュニケーション創発の進化的構成論による研究」(26240037)